

| 今月の不動産経済 (2022年8月)

● 不動産業の動向

		前月比
不動産業景気動向指数 (DI) ^{*1}	44.8 p	0.1 p ↗
		前年同月比
不動産業の倒産状況 ^{*1}	22 件	100.0 % ↗
負債総額 ^{*1}	4,507 百万円	31.6 % ↗

● 新設住宅着工数

		前年同月比
新設住宅着工・総数 ^{*2}	77,712 戸	4.6 % ↗
持家	22,291 戸	△ 11.2 % ↘
貸家	31,295 戸	8.9 % ↗
分譲	23,172 戸	16.2 % ↗
内マンション	10,727 戸	34.6 % ↗

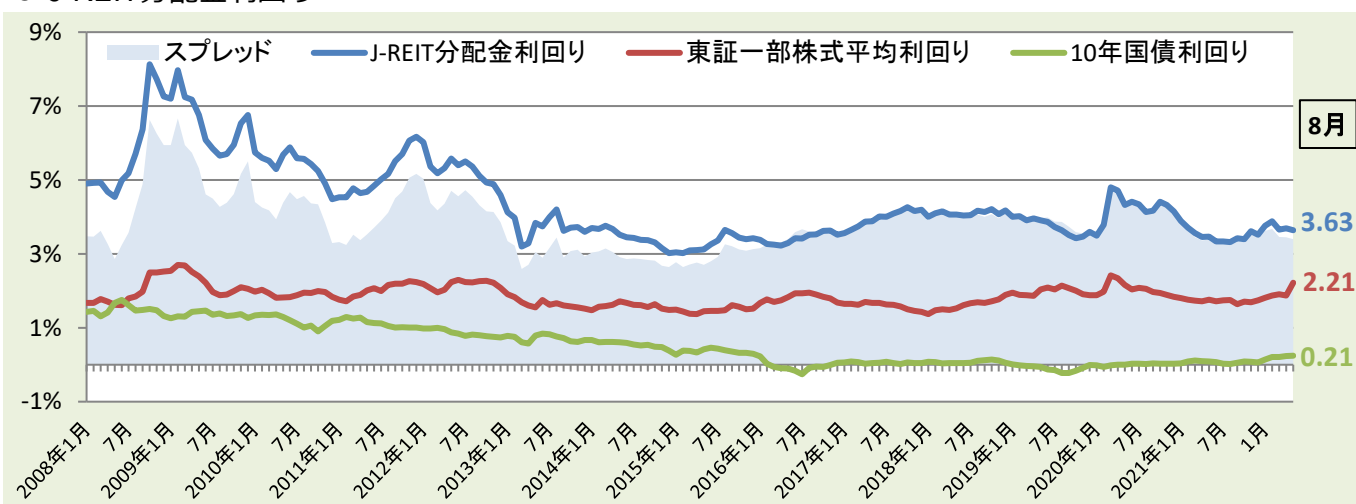
● マンション市場の動向

		前年同月比
新築・供給戸数 (首都圏) ^{*3}	1,162 戸	△ 40.1 % ↘
[契約率]	[62.0%]	△ 11.0 p ↘
平均価格	6,102 万円	△ 18.1 % ↘
新築・供給戸数 (近畿圏) ^{*3}	1,059 戸	0.9 % ↗
[契約率]	[77.0%]	12.0 p ↗
平均価格	4,295 万円	△ 2.7 % ↘
中古・成約件数 (首都圏) ^{*4}	2,357 戸	△ 10.3 % ↘
平均価格	4,280 万円	13.4 % ↗
[㎡単価]	[67.3万円]	13.7 % ↗
中古・成約件数 (近畿圏) ^{*4}	1,096 戸	△ 8.4 % ↘
平均価格	2,575 万円	2.2 % ↗
[㎡単価]	[38.1万円]	5.7 % ↗

● オフィス市場の動向

		前年同期比 (賃料) / 前月比 (空室率)
オフィス賃料 (都心5区) ^{*6}	20,250 円	△ 3.3 % ↘
オフィス空室率 (都心5区) ^{*6}	6.49 %	0.12 p ↗

● J-REIT分配金利回り^{*7}



不動産業の業況感は前月比 0.1p改善の 44.8pとなった。2ヶ月ぶりに改善。

新設住宅着工数は、4ヶ月ぶりに前年同月比増。

首都圏の新築マンション供給戸数は、前年同月比 40.1%減 (2ヶ月ぶりに減)。契約率は 62.0%。平均価格は同 18.1%低下 (2ヶ月連続で低下)。

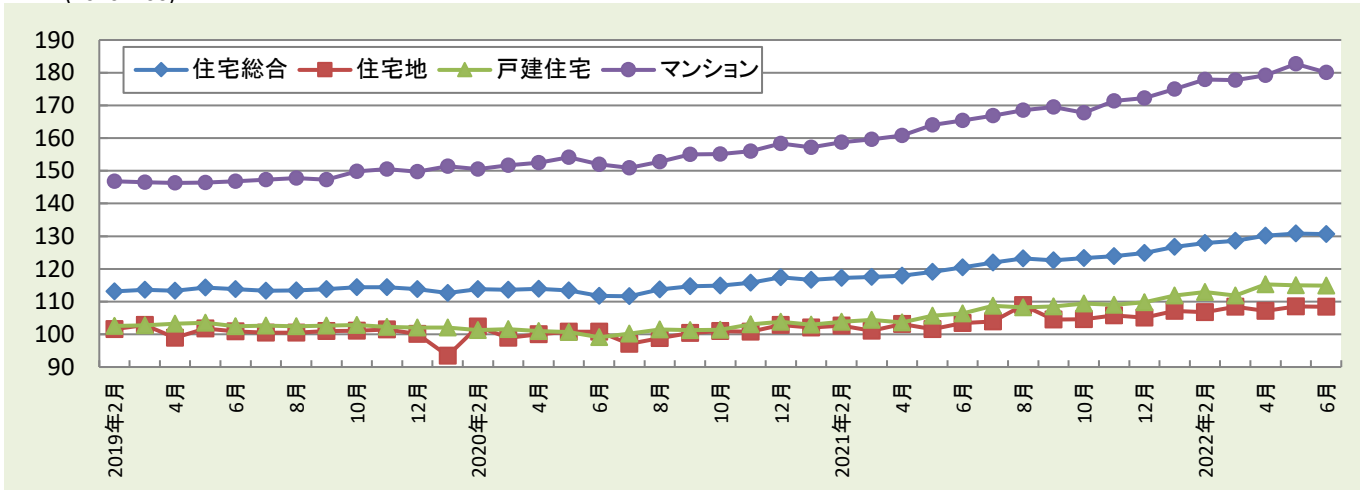
近畿圏の新築マンション供給戸数は、同 0.9%増 (3ヶ月ぶりに増)。契約率は 77.0%。平均価格は同 2.7%低下 (2ヶ月ぶりに低下)。

首都圏の中古マンション成約件数は前年同月比 10.3%減 (2ヶ月ぶりに減)。平均価格は同 13.4%上昇 (27ヶ月連続で上昇)。

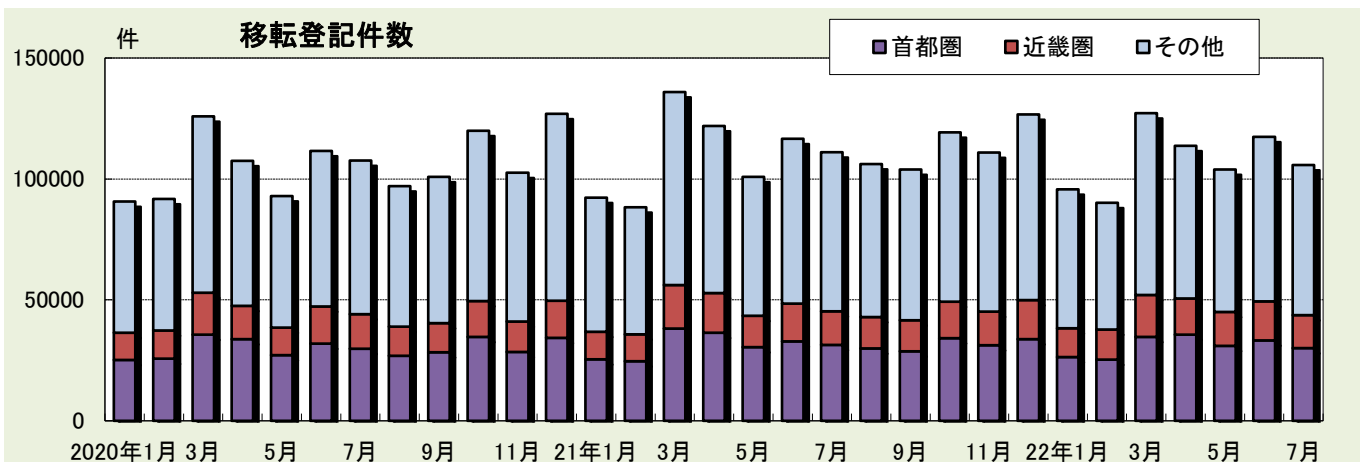
近畿圏の中古マンション成約件数は同 8.4%減 (2ヶ月ぶりに減)。平均価格は同 2.2%上昇 (19ヶ月連続で上昇)。

都心5区のオフィス賃料は 21ヶ月連続で前年同月比低下。オフィス空室率は前月比 0.12p上昇の 6.49% (2ヶ月ぶりに上昇)。

● 不動産価格指数^{*2}
(2010=100)



● 売買による土地所有権移転状況^{*8}



*1 帝国データバンク (DIは0~100、50が判断の分かれ目)

*2 国土交通省

*3 不動産経済研究所

*4 不動産流通機構

*5 アットホーム

*6 三鬼商事

*7 不動産証券化協会、東京証券取引所、財務省 (スプレッド = J-RIET分配金利回り - 10年国債利回り)

*8 法務省

[今月の不動産経済](#)
[時系列データ \(excel\) ダウンロード](#)